

科目コード ENV021241

科目名	福祉ビジネス特論 Welfare Business		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・金・4 限	秋・金・5 限	-	-
担当教員名	渡邊 恵司	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は学外から講義を実施するが2回程度は講義室から行う場合がある。）※対面履修生は全回講義室から参加			
<p><講義の概要と目的></p> <p>近年、福祉の事業展開をサービスとビジネスの両側面から論じることが中心となってきている。さらに、サービスの質の担保も重要な課題となっている。このような状況を踏まえ、本講義においては、福祉に対する捉え方、制度や組織、人事・労務管理、サービス提供、地域福祉の創造などの具体的事項について、講義・ディスカッションを行う。</p> <p>これらをとおして、福祉経営に関する総論と各論をバランスよく学び、最終的には福祉経営の事業創造を実践することが可能となる基礎的な力を身につける。</p> <p><到達目標></p> <p>福祉経営の事業創造を行うために必要な福祉の捉え方、制度や人事・労務管理について理解できる。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>授業に対する目的・課題意識の強さ、グループ・ディスカッションを通じて福祉のビジネスモデル等を検討し、履修者自らの学び・振り返り、他者との学び合いへの積極性などをアクティブ・ラーニングの要素とする。</p> <p><ゲストスピーカー招聘></p> <p>講義10回目に福祉施設の経営者から、福祉サービスを経営する際に必要な管理・経営・運営の方法について講義をいただく予定である。</p> <p><講義計画></p> <p>講義計画は以下の通り。ただし講義の進行状況によっては、講義計画を若干変更する場合がある。</p> <p>1 回目：イントロダクション 福祉ビジネスとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉ビジネスにおいて、何を学び、どこへ辿り着くのか。その全体像をアップデートする。 <p>2 回目：日本における社会保障の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本における社会保障全体の制度とサービスを学ぶ。 <p>3 回目：日本における社会福祉制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本における社会福祉全体の制度とサービスを学ぶ。 <p>4 回目：高齢福祉分野におけるサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：高齢福祉分野における制度とサービスを学ぶ。 <p>5 回目：障がい福祉分野におけるサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：障がい福祉分野における制度とサービスを学ぶ。 <p>6 回目：福祉サービスの特質、理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービス特有の性質を学び、福祉サービスを提供する際の考え方について学ぶ。 <p>7 回目：福祉サービスの組織に関する基礎理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを提供する際の組織について学ぶ。 <p>8 回目：福祉サービスの経営に関する基礎理論</p>				

・要点：福祉サービスを経営する際に必要な基礎理念について学ぶ。

9 回目：福祉サービス提供組織における人材の養成と確保

・要点：福祉サービスを提供するために必要な人材の養成と確保について学ぶ。

10 回目：福祉サービスの管理・経営・運営の方法（ゲストスピーカー）

・要点：福祉サービスを経営する際に必要な管理・経営・運営の方法について学ぶ。

11 回目：福祉の再考と今後のビジョン（グループワーク）

・要点：ゲストスピーカーからの学びについて、グループワークをとおして振り返り、深める。

12 回目：福祉計画と地域福祉計画の意義・種類・策定方法と福祉経営

・要点：福祉サービスを経営する際に関わる福祉計画の意義・種類・策定方法について学ぶ。

13 回目：住民がつくるコミュニティケア

・要点：地域住民とコミュニティケアについて学ぶ。

14 回目：地域における福祉の総合的創造

・要点：地域において福祉経営を行なっていく際に必要な総合的創造の考え方について学ぶ。

15 回目：まとめ（グループワーク）

・要点：これまでの講義の総まとめをグループワークを交えながら行う。

<講義の進め方>

各回の授業において講義を中心として行うが、ディスカッションも適時行いながら参加型での講義を進めていく。

<事前事後学習内容>

事前学習として講義計画の各項目に応じてその概要を調べてくる。また、事後学習として学習内容を各自の実践現場にてできるようにする。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をする。

<教科書及び教材>

教科書は使用しない。授業においてその都度、資料を配布する。

<参考書>

講義において、必要に応じて紹介する。

<成績評価方法>

・欠席6回以上は成績評価しない。レポート試験（100％）にて評価をする。

<課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法>

・Teams等を活用し、レポートを全体に対してフィードバックする。

<履修条件>

特になし

<ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

木曜日 14:50～18:00 E-mail:keiji-watanabe@nuhw.ac.jp

<その他>

特になし。